

# 審判研修 道外派遣参加報告書

第45回 全国ミニバスケットボール大会	期間 26年3月28日(金)～ 3月30日(日)
開催地 東京都	会場 国立代々木競技場第1体育館・第2体育館
参加者 鈴木清孝	所属地区名 札幌地区
講師 日本バスケットボール協会 中山泰夫氏、平育雄氏、岩田千奈美氏、小坂井郁子氏	
審判会議、講師からの事前のレクチャー内容など ○諸会議について ○審判研修について(試合後のミーティング、研修ゲーム) ○審判・ゲーム主任の割当について	
実技研修、座学研修等の記録 ○任意のゲームを取り上げた研修ゲームの実施(大会中4ゲーム) ○主任をブロック長と各都道府県から数名割り当て、自主的なゲーム反省会の実施 ○日本ミニバスケットボール連盟からのレフリーとしての心構えについて諸注意 ・各都道府県の代表レフリーであることの自覚。 ・大会期間中の会場内でのマナー ・各都道府県代表チームとの関わり方 など(審判規則委員会より)	
実践実技1(実技の数によって増やす) 日付け 対戦カード 相手審判 ゲーム前のカンファレンス内容など	
26年3月28日(金)	対戦カード 柳井少年団(山口)vs長尾南小(兵庫)
主審 鈴木 清孝	相手審判 中嶋 祥伍(神奈川)
ゲーム前のカンファレンス内容 ・リードが積極的にスペースを捉えに行って、トレイルはそれに合わせて動く ・大きい子同士のマッチアップに注意を払う ・お互いの基準のすりあわせをできるだけ早い段階で行う	
ゲーム後、講師(主任)からのアドバイス 平育雄氏、峰 聡(九州ブロック長)主任 ・オフボールでの手の使い方を気にしており、ある程度整理できていたのではないかと。 ・ただ、ファーストコールは判断材料をもう少し増やして判定すべきではなかったかと。 ・お互いが取り上げたものを感じ取りながら、基準をあわせることは概ねできていた。 ・手の使い方について判定するときに、プレイヤーの感じ方も考えると、取り上げるべきかどうかをもっと精選することができる。	
ゲーム感想 ディフェンスの手の使い方が気になり、整理するつもりで吹いていたが、取り上げなくても良いものや取り上げるべきものを安定して判定することができなかった。相手審判に助けられたものもあり、主審としてもっとしっかりゲームコントロールする力が必要であると感じた。ただ、久しぶりの全国大会ではあったが、落ち着いて力いっぱい吹けたことは良かった。	
実践実技2 日付け 対戦カード 相手審判 ゲーム前のカンファレンス内容など	
26年3月29日(土)	対戦カード 早田ミニバス(岐阜)vsノースリトル中央台ミニバス(福島)
主審 鈴木 清孝	相手審判 小林 亘(新潟)
ゲーム前のカンファレンス内容 ・オールコートでのディフェンスでは、2人の距離が離れすぎないように気をつける ・お互いの基準を早い段階ですりあわせるようにする ・リードの動きに合わせてトレイルが動くように工夫していく	

ゲーム後、講師(主任)からのアドバイス 小椋 冬海(愛知)主任

- ・ゲームの入りで2人の間に判定基準の差が感じられたので、どのように考えて判定すれば一番ゲームにマッチしたのか、今後も考えていく必要があるのではないか。
- ・けがをしたプレーヤーに対してや、2人の判定が食い違ったときの配慮は良かったが、双方のベンチにしっかりと説明する必要があったのではないか。

#### ゲーム感想

相手審判の判定に対して、コミュニケーションをとって基準を合わせていこうとしたが、逆に相手の思い切りを悪くしてしまった感じがした。もっと細やかな相手審判に対する配慮の仕方を考えていかなければならないと思った。また、細かな部分でのゲームコントロールする術を学習し、主審を任されても安心してもらえるだけの力をつける必要を感じた。

#### まとめ

2年ぶり5度目の全国ミニを経験させていただきました。今回は力不足で最終日の割をいただくことができませんでした。自分の判定力や、主審としての力の無さを感じる結果となりましたが、全国大会という大きな舞台でレフリーができたことは、大きな財産となりました。また、たくさんの全国の仲間と久しぶりに一緒できたことはたいへんうれしく思います。今後も今大会の反省を生かして、全道の子どもたちのために微力ながらがんばっていきたいと思います。また、道ミニ連の審判長として、自分の力量を高めるのはもちろん、指導・育成にもしっかりと取り組んでいきたいと思います。

最後になりますが、今回このような貴重な機会を与えてくださった関係諸機関にこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。